

2013-2014年度 RIテーマ

ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を
Engage Rotary, Change Lives



Governor's Monthly Letter

2014.5
第11号



ガバナーあいさつ	2	2014米山記念奨学生名簿	14
ロータリー財団ゾーン・チーム研修報告	4	大宮西RC・岩槻RC創立記念例会報告	18
インターアクト韓国研修報告	5	川口・鳩ヶ谷武南RC 創立30周年	19
VTT職業研修チーム帰国報告	8	わくわく国際フェスタ報告	20
RLIパートII報告	9	クラブ事業／戸田RC、浦和北RC	21
第2530地区、復興支援交流報告	10	寄付者等報告／文庫通信	22
さいたま大空RC 国際ロータリー加盟認証状伝達式	11	会員数及び出席率	24
IM報告、5G／9G	12		

国際ロータリー第2770地区事務所

〒330-0063 埼玉県さいたま市浦和区高砂1-2-116エイペックスタワー東館1階
TEL:048-827-0022 FAX:048-827-0011 E-mail:ri2770@ri2770.com



残り 2 ヶ月です！！

2013-14 年度ガバナー 渡邊 和良

今月は、自由なテーマで、ということなので、少し横道にそれた話題を・・・・・・・・。

私は、1974年から1年間、企業からの日墨政府交換留学生として、メキシコで勉強する機会がありました。

日本から12時間かけてメキシコ市の飛行場に着くや、沢山の子供たちが私達日本人の留学生の周りを取り囲み、靴を磨き始めました。何が起こったのか分からず、なされるままの私達でしたが、子供たちからお金を要求され、後ろから人相の悪いお兄さんたちが出てきて・・・・・・・・。

私は、到着後すぐ下痢がひどくなり、3-4日間続いた末脱水症状にも苦しみました。後でわかったのですが、私は、「モクテスマの復讐」にかかったのです。メキシコを占領したスペイン人に対するモクテスマ二世の復讐だという言い伝えがある、風土病だったのです。

最初の2カ月はベラクルス州の州都ハラパ市にあるベラクルス州立大学でスペイン語の集中講座、その後、メキシコ市に移り、メキシコ国立自治大学で学びました。メキシコ文部省から、スペイン語に早く慣れるためにと、アンドレスさんというホストファミリーを紹介され、家族の一員として生活しました。朝食は6時から。息子のアンドレアは地元の銀行員。朝7時出社

し、帰宅は午後2時。残業はなく、毎日きっかり2時過ぎには仕事を終え、自宅に戻っていました。お父さんも、学校に通っている娘さんも、そして私も2時には全員が自宅にもどっての昼食でした。昼食の準備は全てお母さんの指導のもと、二人の女中さんが。2時間かけての昼食時間は、格好のスペイン語会話の勉強の場となりました。4時から夕食までは自由時間。私は、学校に戻ったり、授業のない日は、銀行員の息子さんとスカッシュを楽しむこともありました。

夕食は、子供だけ早く済ませ、大人は10時から12時頃にかけての大雑談大会でした。全ての家事やお世話は、女中さんの役目なので、お母さんも家族の会話を楽しんでいました。

私は、日本では、大企業に勤めていたとはいえ、6畳一間に男性二人の窮屈な独身寮生活。土日を含めて会社で働き、每晚最終電車に乗って帰宅するという生活でしたので、メキシコでの自由時間の多い生活には、最初は大いに戸惑いました。ところが、3カ月を過ぎて慣れてくると、なんとも言えない心地よさに変わり、とても気分的にリラックスしてきました。

メキシコの社会は貧富の差が大きく、社会的にも多くの問題を抱えておりましたが、のんびりと人間らしく生きるメキシコ流の生活が次第に私の身体の一部となり、性格の一部になってしまいました。特に、何ごとにも焦らず、他人

の失敗をも温かく受け入れ、「明日出来るものは、明日に廻そう」という精神が大変新鮮に感じられました。

帰国後も、中南米課の職員として働き、中南米出張を通して、いい加減な性格は益々磨きがかかってきましたが、1983年に、転職し、現在に至っております。

サラリーマンで終わってしましたら、ロータリーに出会う機会もなかったと思いますと、人生は、色々な事の巡り合わせなんだなとつくづく思います。ロータリーで多くの方と出会い、多くを学ばせて頂きました。そして、南米の感覚が薄れてくるに従い、今では、「今日出来ることは、今日やろう」精神になりつつあります。私のマイペース振りに翻弄されるような事がありましたら、南米時代の名残りだと思ってご容赦ください。

さて、本題に戻り、本年度もあと2ヶ月となりました。

年度初めにスタートしましたガバナー公式訪問と地区大会という大きな行事を終え、後半は、12グループのインターシティ・ミーティング、公開例会、合同例会、周年行事、地区の委員会、全地域のガバナー・パストガバナーの会合、会員増強セミナー等々と相変わらず忙しい日が続いております。3月には、国際奉仕委員会主催のフィリッピン・マニラへの奉仕事業検証ツアーにも参加させていただきました。4月には、第2530地区（福島県）社会奉仕委員会との合同研修会を開催。また、国際奉仕部門セミナーも開催されました。3月以降、スケジュールの合間を見て、同期のガバナーの各地区の地区大

会に参加し、多地区の活動状況を見る機会もありました。

クラブ会長・幹事をはじめとしてクラブ会員の皆様には、年初に作成されました年度計画書をもう一度見直していただき、プログラムや委員会活動をチェックして頂きたく、よろしくお願いいたします。特に、財団寄付、米山記念奨学寄付に関しましては、両委員会委員長を中心に、会員の皆様に主旨をよく説明し、目標金額に向かってご協力をお願いして頂きたく、宜しくお願い申し上げます。

皆様のクラブを効果的なクラブにするためには、会員基盤の維持・拡大が求められます。しかしながら、毎年、年度末の6月には多くの会員が退会されてしまいます。ロータリーの素晴らしさを体験し、理解する前に何らかの理由で退会されてしまう3年未満の会員が多いのも問題です。会員歴の浅い会員に対し、もっとロータリーの素晴らしさを体験できるような機会を作り、退会防止に努めて頂きたいと思います。

目標を達成し、良い形で濱野年度にバトンタッチ出来たらと考えております。会長・幹事をはじめ、ロータリアンの皆様、あと2カ月間、頑張ってください。

ロータリー財団ゾーン・チーム研修（報告）



ロータリー財団部門委員長 井原 實（さいたま新都心 RC）

3月22日の13:00-17:00で2014-15年度のロータリー財団ゾーン・チーム研修会が開催されました。場所は代々木の国立オリンピック記念青少年総合センターです。日本は第1ゾーン～第3ゾーンに分かれていますが、主催者は各ゾーンのロータリー財団地域コーディネーター（RRFC）で、第1ゾーンは岩渕均RRFC、第2ゾーンは江崎柳節RRFC、第3ゾーンは松本茂太郎RRFCです。本研修会は3月初旬にシカゴで開催された地域コーディネーターとアドバイザーの研修会に続いて開催されました。

本会議では、開会の言葉を岩渕RRFCが述べ、北RI理事がご挨拶をなさいました。続いて、江崎柳節RRFCが「次年度財団寄付目標と資金推薦の重要性」について発表をなさいました。

2014-15年度 日本の財団寄付目標

年次基金

- ・ 1人当たり150ドル
- ・ 全てのクラブが寄付をし、寄付ゼロクラブをなくす
- ・ ポール・ハリス・ソサエティを推進する

ポリオプラス基金

- ・ クラブ1,500ドル
- ・ 地区DDFの20%の寄贈
- ※End Polio Now. Make History Today感謝状の対象になる

恒久基金

- ・ 1地区5-6万ドル 日本全体で180万ドル
- ・ 大口寄付（一括1万ドル以上）1地区2-3件の発掘

その後、グローバル補助金について、①財団奨学生の派遣、②デンタルVTTの派遣、③人道的プロジェクトの紹介が有りました。続いて、地区補助金事業について、D.2770の事例を財団部門委員長の井原が紹介しました。財団の使命と地区補助金の用途との関係についてD.2710の伊賀地区財団委員長が発表し、最後に田中徳兵衛第1ゾーンE/MGAが、E/MGAの役割（Endowment/Major Gift Advisor）について説明なさいました。日本語では恒久基金/大口寄付アドバイザーで、13/10月から活動を開始しています。現在9.6億ドル蓄積しているR財団の恒久基金を2017年は10億ドルにすることを目指して活動しています。

分科会は、各ゾーンに分かれて実施しました。第1ゾーンは、井橋地区財団委員長の司会で、ロータリー平和フェローについて、補助金セミナーについて、地区補助金の審査方針について、寄付0クラブの現況と、その解消を目指して、というテーマで発表が有りました。

懇親会は、FVP（Future Vision Plan：未来の夢計画）初年度を開始してという内容で杉谷卓紀RI理事エレクトからご挨拶が有り、その後、江崎RRFCが乾杯の音頭を取られ、松本RRFCの中締めで終了しました。



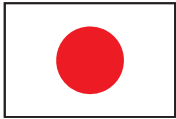
全体会 岩渕 RRFC



分科会 井橋財団委員長



全体会風景



『インターアクト韓国研修』 報告



青少年奉仕部門委員長 遊馬 久治（大宮北東 RC）

今年で26回目を迎える韓国第3750地区とのインターアクト交換プログラム。
3月26日（水）から31日（月）までの6日間、訪韓してまいりました。

インターアクト45名、顧問教師2名そして、岩渕均団長ご夫妻を含むロータリアン5名で総勢52名での訪韓となりました。

ほとんどの学生が外国へは行ったことがなく、羽田からの離陸の際は歓声??をあげての出発となりました。

ソウルの金浦空港へ到着、入国審査を経て外へ出ると3750地区の裴ガバナー、金 吉賢パストガバナー、グリーンピーインターアクト委員長をはじめとする大勢のロータリアンのお出迎えをして頂き歓迎ムード一色となりました。その後、2台のバスに分乗し果川青少年修練館へ移動。歓迎式、及びホームステイ対面式が行われ、学生たちはそれぞれの家族のもとへ期待と不安を満載して迎え入れられていきました。一方、ロータリアンはガバナー主催の歓迎晩さん会に出席となり、夜遅くまで片言の韓国語、日本語で交流を深めることができました。

2日目、3日目のロータリアンは国立博物館や世界遺産めぐりを3750地区の皆さんに案内していただきました。その中で歴史をたどっていくと百済と日本とのつながりは深く、百済菩薩をはじめ百済の文化が日本にも多数入ってきているようです。一方、インターアクトの皆さんは、韓国に現在留学中の青少年交換学友と共にエバーランドで楽しんできたようです。

4日目は第3750地区事務所を訪問し、裴ガバナーとの意見交換会がおこなわれました。そして裴ガバナーから米山記念奨学事業への感謝の言葉をいただきました。日本に留学し、奨学金支給やロータリアンからケアをしていただいていることに深く感銘し、第3750地区としても日本からの留学生に奨学金の支給という事も検討しているという事です。

その後、安陽大学へ移動し公式日程である日韓インターアクト交流会が行われました。韓国からは高校生による、太鼓、テコンドー、ダンス等のパフォーマンスの披露。さすがにその種の専門校の生徒による発表ということで全てプロフェッショナルなパフォーマンスでした。日本からは歌やダンスも披露しましたが、書道では韓日友好を韓国語で「한일우호」と書いて披露すると一気に会場内が盛り上がりました。懇親会でも両国の学生たちは打ち解けあって更に交流を深めているようでした。

最終日のお別れ会では、別れを惜しんで涙をうかべている学生も多く、韓国への留学を真剣に考えている学生からは「どうしたら韓国へ留学をできるか」との質問もできました。空港ではホストファミリーからのお土産が多すぎて機内に持ち込めず、改めて送ってもらうという事態もおこったくらい、皆さん持ちきれないほどのお土産と韓国での素晴らしい体験を一杯抱えて帰国の途へつきました。

学生のホストを引き受けていただいたロータリアン、また、私達ロータリアンを6日間も案内していただいたロータリアンに感謝を申し上げますと共に、今後もロータリーによる日韓の良き関係をいつまでも継続していきたいと思います。



インターアクト韓国訪問記



インターアクト訪韓団団長 岩瀬 均（浦和 RC）

3月26日～31日の5泊6日間、45人のインターアクターと共に韓国を訪問しました（顧問教師2名及びロータリアン5名）。韓国の訪日団が1月に来ていましたので2ヵ月半振りの再会です。

偶然ですが、出発当日はオランダのハーグで日米中の首脳会談が行われていました。新聞によると初の首脳会談はギクシャクしたもののようなのですが、我々の方は韓国のロータリアンやホストファミリーから大歓迎を受けました。政治と民間の関係は別なものようです。

安養市の近くの果川という町で対面式を行いました。韓国からは裴（ベイ）ガバナー（ニックネーム：ロータリーのヨン様）、金パストガバナー（何人もの金PDGが来てくれました）、崔インターアクト委員長等が我々を出迎えてくれ、生徒をホームステイしてくれるホストファミリーのロータリアンとその家族が生徒を引き取りに来てくれました。

生徒たちはホームステイで国際理解と国際親善を進めてくれました（生徒の作文は別途掲載されると思う）が、私たちのことは、韓国のロータリアンがソウル市、水原市、扶余（扶餘）市など歴史のある観光地を案内してくれました。ソウルと水原は当地区のロータリアンは訪れたことがあると思いますので、今回は扶余の町を訪ねたことを紹介します。

扶余は百済の都があったところ。ウィキペディアによれば、百済は、古代の朝鮮半島南西部にあったツングース系扶余族による国家（346年～660年。韓国では紀元前18年～660年と言っていた）。半島北部から満州地方にかけての高句麗、半島南東部の新羅、半島南部の伽耶諸国とあわせて百済の存在した時代を三国時代という。

百済は日本との関係が深く、百済滅亡の際は、新羅と唐の連合軍対百済と日本の連合軍の戦いでありました。扶余の宮殿があったところは扶蘇山という小さな山で、山を登っていくと背面は断崖になって白馬江という河に面しています。百済滅亡の際には百済の3000人の宮女たちは白馬江に身を投げたと言われています。その飛び降りた断崖の大きな岩を「落花岩」と呼んでいます。後日、落花岩の上にあずま家を建てて詩人たちはこの戦いのことを詩に詠んだそうです。そのあずま家は「百花亭」と名付けられました。

再びウィキペディアを引用すると、百済滅亡により百済王と王族・貴族を含む一部の百済人が倭国に亡命し、一部が朝廷に仕えた。また、奈良県北葛城郡広陵町には百済の地名が集落名として現存し、百済寺三重塔が残っている、と書かれている。

私はこれまで朝鮮の歴史や朝鮮と日本の文化との関係に関してあまり関心がなかったというのが正直なところではありますが、幸か不幸か最近の両国の関係と今回の韓国訪問で、些かなりとも関心を持つようになりました。この関心を両国の民間外交に生かすことができればと考えています。





高校生韓国訪問レポート



사랑하는 한국(愛する韓国)

埼玉県立南稜高等学校 高草木 麻矢



3月26日から31日まで5泊6日、韓国・安養にホームステイをしました。出発の前日、自分の語学力で大丈夫か韓国の方々との交流だけでなく

一緒に行く日本の子たちとも仲良くできるかすごく不安でした。不安の中、韓国に無事に到着しました。到着した時さっきまで日本語が周りで聞こえていたのがもう韓国語で嬉しくもありつつこれから6日間ここで過ごすのだと実感が湧きました。

コミュニティーセンターのようなところでホストファミリーとお会いしました。すごく緊張しましたが同い年の子と一緒にホームステイするので安心しました。そこからみんなでお寿司屋さんに食べに行き韓国での食べ方など教わりました。ホストファミリー家は5人家族で3兄弟でした。兄弟ということもあり、あまり会話が出来ませんでした。家に80インチくらいのテレビがあったりと日本でも体験出来ないことばかりでした。

私はこの研修で2つ記憶に残っています。1つは土曜日に行った交流会です。1月に仲良くなったお姉さん達に久しぶりにお会い出来たのがとても嬉しかったです。前に私が辛い物が好きと言ったのを覚えててくれて辛いラーメンをプレゼントしてくれました。

2つ目は土曜日から日本の友達と4人でサウナに泊まり、日曜日にソウル散策をしたことです。何も分からず困っていた時に日本語で「どうしたの?」と小さい子のお母さんが話しかけてくれました。その方は昔日本に住んでいたということで日本語が上手でした。色々説明をして、長い時間サウナでどうすればいいかなど教えていただきました。最後にもし何か困ったことがあったらいつでも電話をしてと電話番号も教えていただきました。4人で力を合わせて1日過ごし、日曜日に12人でソウル散策をしました。その時に違うホストファミリーが案内してくれました。景福宮・明洞・南山タワーに行き、お昼に参鶏湯を食べました。最終日、私はまだ韓国に居たいという気持ちでした。

昨日お姉さんから手紙をもらいました。今までもらった手紙の中で一番の宝物です。この研修は韓国の方々との交流だけでなく、日本人との交流でもあるのだと思いました。また来年も行きたいです。

再会を夢見て

浦和実業学園高校 野田 響子

私にとってこの韓国研修は初めての海外であり、初めての飛行機でした。だから正直、行く前は楽しみな気持ちより不安な気持ちの方が大きかったです。もともと韓国のドラマなどに興味があり、韓国研修の存在を知ってインターアクト部に入りました。

初日、初めてホストファミリーの方に会ったときは本当に緊張しました。家族は、お父さん、お母さん、同い年の娘、おばあちゃん、ネコ、カメでした。私は全然韓国語が喋れず、研修前に何度か韓国語勉強会があり先生にたくさん教わったものの、ほとんどできないまま行ってしまいました。だからコミュニケーションはほとんど翻訳アプリでした。ジェスチャーや英語も使いながらでしたが、肝心の韓国語はあまり使えなかったのが本当に悔しかったです。ファミリーは本当に優しく迎えてくれて、家族のように接してくれました。すごく嬉しかったです。色んな場所に連れて行ってもらいました。市場、ソウルタワー、ショッピング、どれも楽しかったです。

お家がレストランで、美味しい手作り料理たくさん頂きました。私は元々辛いものがあまり得意ではなかったのですが、この6日間で少し強くなった気がします。それくらい美味しいものばかりで、辛くても箸が進みました。親戚の方も集まってくださり、大勢で食卓を囲みとても楽しくご飯を食べました。

最終日お別れの時は悲しくて泣きました。帰りたくなかったです。長いと思っていた5泊6日は本当にあっという間でした。最初はこんなにお別れが辛いとは思いませんでした。

韓国語が喋れなかったことが一番の心残りなので、大学生になったらまた絶対にこのファミリーに会いに行くという夢を持ちました。その時までには必ず韓国語を完璧にします。今回のお礼、会話、直接韓国語で言えるように頑張ります。

この韓国研修は一生の思い出、一生の宝物です。

このような素晴らしい機会を与えてくださった日本、韓国のロータリークラブの方々、先生方、そしてホームステイ先の家族の方々には本当に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。



VTT 職業研修チーム帰国報告

ロータリー財団部門 VTT 委員長 早船 雅文 (川口 RC)



2013-14年度の2770地区VTTはグローバル補助金を使って、30日から4月13日までの2週間「認知症・アルツハイマー病の現状（研究・治療・設備）について」、アメリカ・カリフォルニア州サンディエゴRI5340地区に行ってきました。派遣メンバーは、丸山恵美子さん（ケアマネジャー）・高橋めぐみさん（放射線技師）・内田亨さん（ケアマネジャー）・姉川健さん（ケアワーカー）・文村優一さん（神経内科医）と私（早船雅文）の6名です。

サンディエゴ空港到着時、5340地区ガバナーノミニーのジャニス・コース夫妻に出迎えられ、翌日から実際の研修がスタートしました。カリフォルニア州立大学サンディエゴ校（UCSD）メディカルセンター・UCSDアルツハイマーリサーチセンターなどの医療機関では、認知症患者の診察とその家族への診察結果報告の実際の場に立ち会わせていただくことができました。そして介護関係では、デイケア・ショートステイ・終身ケアステイの様々な施設を見学し、ナーシングの実施を体験しました。日本の現場と比較して進んでいるところを吸収しようと、メンバーは、一生懸命でした。宿泊は、地区ロータリアンのお家にホームステイです。朝集合場所に送られ、夕方そこに迎えに来ていただき、ステイ先で夕食。介護施設でのショートステイも経験しました。ジャニスさんが属しているデル・マール

RCを始め5340地区のロータリークラブの例会にも参加しました。メンバー全員英語でのプレゼンテーションを行いました。毎日びっしりと研修予定が組まれていましたので、あっという間の2週間でした。

大リーグパドレスの試合観戦もできました。日本からVTTできたメンバーということで、私は、ペトコスタジアムのポールにロータリー旗を掲揚することができ、5人はグラウンドの中に立ち紹介されました。最後の晩は、ジャニスノミニーの邸宅でホームパーティ。ご支援いただいた方々との友好を深めることができました。

RI5340地区（サンディエゴ）の多大なるご支援の下、無事全日程を終えて帰国できました。今後はグローバル補助金の支給要件である持続継続性のための資料を作成して報告会などを実施して行きます。ありがとうございました。





RLI パートⅡ 報告



RLI 運営委員長 篠原 唯史 (浦和北東 RC)

渡邊年度、ロータリーリーダーシップ研究会 (RLI) パートⅡ 3月23日 (日) 埼玉会館にて開催されました。募集人数80名のところ、地区内クラブ90名、他地区8名で98名のお申込みをいただきました。当日の参加者は89名で、セッション1～6を1日かけて受講され、ディスカッションリーダー17名と共にロータリーに深く触れ合う時間を共有できたと思います。(他地区参加「D2520 1名・D2570 1名・D2790 5名D2840 1名」の8名です。)

開会式で渡邊ガバナーから「アメリカでは、よく理解しなくても積極的に発言して、セッションに参加します。日本人は、なかなか発言しません。今日は皆様の積極的なセッション参加を期待します」とご挨拶いただきました。その後、午前中2セッション、午後4セッションの6セッションでロータリーリーダーシップ研究会を進めてまいりました。

この地区は、中村靖治RLI日本支部事務局長を中心にディスカッションリーダーが毎回 (パートⅠ～パートⅢ) 3時間をかけて「研修準備会」を開催し、ディスカッションリーダーのレベル向上に努めております。その成果として、渡邊ガバナーはじめ各セッションリーダー、地区役員各位の熱意が結集して「より理解しやすいセッション」「和やかな雰囲気」「笑顔のこぼれる」パートⅡが無事終了したのです。1回のセッションは16～17名で構成、参加者の発言も積極的になりました。今回は過去最高の参加者による活気あるセッションが展開され、充実したカリキュラムでありました。国際ロータリーは、3年ごとの規定審議会により変化しております。今のロータリーを理解し、受け入れるためRLIを積極的に活用されることをお勧めします。

懇親会は和やかな交流会になりました。参加された「D2520 秋田陽子様 (仙台レインボー)」の言葉を紹介します。「私の地区ではRLIがありません。5年前パートⅠを貴地区で参加、その後D2520での開催を待っていましたがまだ出来ていません。よって今回パートⅡを受けに来ました。できればパートⅢを受講して、第2770地区で修了バッジを頂きたいです。今回も日帰りで参加して本当によかったです。」笑顔で語るロータリアンのひと言が達成感に満ち溢れておりました。

最後にディスカッションリーダー各位、管理運営部門各位、ガバナー事務所関係者の皆様に感謝申し上げ報告といたします。



第2530地区、2770地区復興支援交流の報告

社会奉仕部門委員長 清水 恒信（大宮西 RC）



去る4月13日14日に渡邊和良ガバナーを団長として総勢30名の皆様と2530地区の会津地方へ行ってまいりました。本年度当初、第2530地区渡邊公平ガバナーより『会津へこらんしょ』と言うキャッチフレーズの下で、会津地方の原発風評被害を少しでも早く一掃したいとの要請がガバナー連絡会、それと同時にインターネットを通じてあったようでございます。

直ぐにでもプロジェクトを立上げると当社会奉仕部門委員会としては阿部和夫（川口南）地区地域社会奉仕委員をプロジェクトリーダーとして立ち上げた訳であります。しかしながら渡邊和良ガバナー一年度も走り始めておりましたので、他のプログラムに忙殺され遅れをとってしまいました。勿論私部門委員長の指導力不足がオモであります、そうも言ってもおれないので、委員会でいろいろ意見を重ねた結果、2530地区の意見も伺おうと言う事で郡山迄

赴く事になりました。

先ず素朴な疑問、なぜ会津地方なのか、委員長に直接質問させていただきましたところ、このプログラムは3年計画であり、2530地区の浜通りが1年目、2年目に中通り、そしてこの会津地方が3年目と言う事を伺い、『会津にこらんしょ』の意味が解った訳であります。当日は朝8時に出発し3時半から2530地区との合同研修、交流会が行われ有意義な時間が持たせて、委員会としても満足できたかなと自画自賛、前後しますが帰りの車中では一緒に行ってくれた方々には素晴らしい評価をいただき、社会奉仕部門委員会として溜飲をさげることが出来ました。それと言うのも2530地区の皆さんのお持てなしと言うか、歓迎が我々の想像を遥かに超えており、全員大感激でありました。研修会では震災、震災その後の問題点等ご説明をお受け致しました。風評被害についてもデーターを示して頂き丁寧な話を伺って、理解を深めることができたようです。

今年度、この事を受けて対策協議をしたい処ではありますが、行った方々より感想を頂きましたのでまとめて次年度に送れればと思います。

個人的な見解ではありますが、震災『被害の程度』被害のその後、津波による被害のその後、原発による直接被害、それにとまなう風評被害、それぞれの現地にロータリアンがいる訳であります。従ってここはロータリアンの優しさ、思い遣りの心と、行動力とを、情熱をもって先頭に立つところか。

最後に阿部和夫（川口南）地区地域社会奉仕委員の並々ならぬご尽力を忘れてはならない事をご報告させていただきます。



「さいたま大空RC国際ロータリー加盟認証状伝達式」



「さいたま大空ロータリークラブ」 国際ロータリー加盟認証状伝達式が3月23日（日）

渡邊和良ガバナーをはじめ遠方からのご来賓・地区内外ロータリアン250名のご臨席をいただきラフォーレ清水園において盛大に挙行されました。

定例会にて、李 成哲会長挨拶・クラブ創設経過報告・地区クラブ拡大特別委員長 田村亮夫パストガバナーのご挨拶があり、A Vにて会員の紹介がなされました。認証状伝達式では、渡邊ガバナーのごあいさつの後、認証状がガバナーから李 成哲創立会長へ伝達され高々と掲げた時には会場溢れんばかりの拍手が鳴り響きました。

記念祝賀会では乾杯の後、会員が中国の踊りや日本・中国・韓国・台湾・ミャンマー・ベトナムそれにインドの民族衣装を纏って現地語での挨拶で強烈にアピールをしました。

特別代表 恵川 一成（大宮シティ RC）

2770地区におきましても数年前から学友ロータリークラブの拡大をめざしておりましたが、ここにクラブ拡大の機運が高まり設立の運びとなりました。

ロータリー財団学友を中心としたクラブとロータリー米山学友を中心としたクラブは全国で6クラブ活躍をされています。

当クラブはロータリー財団学友とロータリー米山学友とで結成をしました学友クラブで、34地区におきましてはじめてのロータリークラブになります。

ロータリー財団部門から8名・米山記念奨学部門から8名の拡大補佐と共に常に前向きな姿勢で取り組み、クラブ拡大がなされました。

固い決意と共に奉仕の仲間入りをさせて頂いた以上、会員の思いは大空には国境はありません、民族紛争もありません。世界の大きさを誓いあった認証状伝達式でありました。

渡邊ガバナーをはじめ多くのロータリー指導者の皆様のご指導・ご鞭撻・ご支援を、今後ともよろしくお願いいたします。



IM報告 第5グループ

インターシティ・ミーティング報告



第5グループ ガバナー補佐 星野 一雄（上尾西RC）

第5グループのインターシティ・ミーティングはポリオ撲滅運動をテーマとした募金活動と『繋ごう、強めよう！グループの絆』を合言葉にグループ例会と大懇親会を開催しました。

第1部のポリオ募金活動は冷たい雨の降る中、上尾駅のコンコースを利用しロータリアン143名、上尾市立大谷中学校の生徒25名、ローテックス／青少年交換学生（インバウンド）及び米山奨学生の6名そして渡邊和良ガバナーの総勢175名で行われ、25万8千円あまりの募金成果を上げました。まさに本年度地区活動方針である「奉仕の心を行動に移そう」を第5グループのロータリアンの皆様に実践して戴きました。

また、第2部の本会議は参加ロータリアン皆様に“私たちはロータリークラブの会員であると同時に第5グループのメンバーであるという気持ちを高め、強い絆で繋がって信頼できる仲間がいる”ということを実感して戴く為に8クラブの会長が主となって「大握手会」で始まるグループ例会としました。

そして、第3部の大懇親会は絆を強め、深めるために「大抽選会」などを開催し盛大な懇親会を繰り広げました。懇親会には上尾市、桶川市、北本市、鴻巣市の4市長にも出席をいただきロータリアンとの親交を深めて頂きました。

IMが盛大に開催できたのは第5グループのロータリアン、渡邊ガバナー、大谷中学校、ローテックス、青少年交換学生、米山奨学生の皆さんとIM実行委員会の関係各位のお力のお陰と心より御礼申し上げます。



IM報告 第9グループ

IM開催報告



第9グループ ガバナー補佐 川井 大輔（草加松原RC）

第9グループのインターシティミーティングは、3月29日（土）草加アコスホールにおいて開催しました。

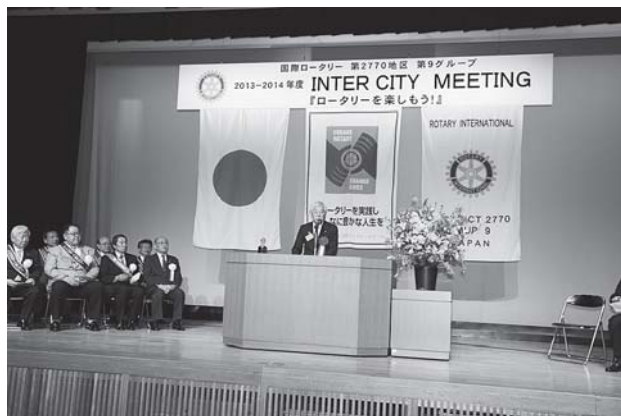
IMの重要な目的である会員相互の親睦と交流を深めるため、テーマを「ロータリーを楽しもう」のもと第9グループ6クラブの会員、家族、米山奨学生、ローターアクト、事務局員の総勢120名に参加を頂き盛大に開催することが出来ました。

第1部記念式典では、第2770地区渡邊和良ガバナー、田中和明草加市長、田中作次国際ロータリー直前会長のご臨席のもと、30分と簡素化した式典でありました。

第2部特別記念講演では、当グループの八潮ロータリークラブ所属田中作次国際ロータリー直前会長に質疑応答形式で、講話を頂きロータリーの魅力、RIから見た日本のローター、ロータリアンとしての田中作次様の人となりに触れることが出来て感動いたしました。

第3部懇親会では、シュガーヒルバンドによるジャズの演奏を楽しみながら会員相互の親睦交流を深めることが出来ました。

IMの企画、運営、設営にご尽力頂きましたIM実行委員会（次年度会長エレクト）の皆様、会長、幹事、事務局の皆様にご心から感謝を申し上げ、IMの報告とさせていただきます。



国際ロータリー第2770地区

2014学年度 ロータリー米山記念奨学生（29名）

（新規米山奨学生 20名 ・ 継続生 8名 ・ 復学による延長生 1名）

（性別人数）	新規奨学生	2013年度からの継続生	2014学年度 米山奨学生	備 考
男	9	1	10	
女	11	8 ※	19 ※	※うち1名は延長生
合計	20	9	29 ※	※うち1名は延長生

（大学別人数）	新規奨学生	2013年度からの継続生	2014学年度 米山奨学生	備 考
埼玉大学	9	3	12	
共栄大学	3	1	4	
日本工業大学	2	1	3	
獨協大学	1		1	
文教大学	1		1	
聖学院大学	2	2	4	
芝浦工業大学	1	2 ※	3 ※	※うち1名は延長生
東京理科大	1		1	
合計	20	9 ※	29 ※	※うち1名は延長生

（国籍別人数）	新規奨学生	2013年度からの継続生	2014学年度 米山奨学生	備 考
中国	11	3 ※	14 ※	※うち1名は延長生
韓国	4	2	6	
ネパール	1	0	1	
バングラ	1	0	1	
ベトナム	1	0	1	
ミャンマー	1	0	1	
モンゴル	1	0	1	
タイ	0	1	1	
マレーシア	0	2	2	
台湾	0	1	1	
合計	20	9 ※	(10カ国)29名 ※	※うち1名は延長生

（課程別人数）	新規奨学生	2013年度からの継続生	2014学年度 米山奨学生	備 考
学部3年	3		3	
学部4年	10	8 ※	18 ※	※うち1名は延長生
修士1年	3		3	
修士2年	1	1	2	
博士2年	3		3	
博士3年	0		0	
合計	20	9 ※	29名 ※	※うち1名は延長生

※次年度の継続生9名

※延長生1名 ・ ・ ・ 6ヶ月間の大学休学から復帰し、支給が4月から再開する奨学生

第 2770 地区 2014 学年度 ローターリー米山記念奨学生【継続生】



氏 名	劉 園 (※)
フリガナ	リュウ エン
国 名	中 国
大学名	芝浦工業大学
課 程	学部 4
世話クラブ	浦和北
カウンセラー	古澤 建治



氏 名	金 慧瑔
フリガナ	キム ヘソン
国 名	韓 国
大学名	埼玉大学
課 程	学部 4
世話クラブ	上尾西
カウンセラー	前場 武勇



氏 名	李 藤
フリガナ	リ トウ
国 名	中 国
大学名	芝浦工業大学
課 程	学部 4
世話クラブ	浦和東
カウンセラー	吉村 雅男



氏 名	施 怡廷
フリガナ	シーイ ティン
国 名	台 湾
大学名	聖学院大学
課 程	学部 4
世話クラブ	吉川
カウンセラー	廣田 和江



氏 名	全 弼旻
フリガナ	ジョン ウミン
国 名	韓 国
大学名	埼玉大学
課 程	学部 4
世話クラブ	越谷
カウンセラー	江原 武男



氏 名	劉 奕君
フリガナ	リュウ エキクン
国 名	マレーシア
大学名	聖学院大学
課 程	学部 4
世話クラブ	川口モーニング
カウンセラー	工藤 篤志



氏 名	ラプロンラッタナ, エウイカ
フリガナ	
国 名	タ イ
大学名	日本工業大学
課 程	学部 4
世話クラブ	草加中央
カウンセラー	北畠 正顕



氏 名	鄭 詩文
フリガナ	テイ シブン
国 名	中 国
大学名	共栄大学
課 程	学部 4
世話クラブ	春日部西
カウンセラー	田中 祥皓



氏 名	イマン・ピンティ, アブドゥルハリム
フリガナ	
国 名	マレーシア
大学名	埼玉大学
課 程	修士 2
世話クラブ	大宮北東
カウンセラー	佐々木 直之

(※) は休学から 4 月に複学し、9 月まで延長の奨学生

第 2770 地区 2014 学年度 ロータリー米山記念奨学生【新規奨学生】



氏 名	徐 曉潔
フリガナ	ジョ ギョウケツ
国 名	中 国
大学名	共栄大学
課 程	学部 4
世話クラブ	越谷南
カウンセラー	深井 良孝



氏 名	デブコタ, ラメス
フリガナ	
国 名	ネパール
大学名	埼玉大学
課 程	修士 1
世話クラブ	浦和中
カウンセラー	小谷野 堅太郎



氏 名	朴 香順
フリガナ	ボク コウジュン
国 名	中 国
大学名	共栄大学
課 程	学部 4
世話クラブ	春日部南
カウンセラー	大宮 英男



氏 名	ロイ, ディパ ラニ
フリガナ	
国 名	バングラデシュ
大学名	埼玉大学
課 程	博士 2
世話クラブ	北本
カウンセラー	吉田 好志郎



氏 名	李 昂
フリガナ	リ コウ
国 名	中 国
大学名	共栄大学
課 程	学部 3
世話クラブ	さいたま中央
カウンセラー	井上 正巳



氏 名	ファン, マン クーン
フリガナ	
国 名	ベトナム
大学名	埼玉大学
課 程	修士 1
世話クラブ	川口西
カウンセラー	海老原 邦延



氏 名	陶 莎莎
フリガナ	トウ シャシャ
国 名	中 国
大学名	埼玉大学
課 程	博士 2
世話クラブ	川口シティ鳩ヶ谷
カウンセラー	時枝 慎一郎



氏 名	チョウ チー ター トゥー
フリガナ	
国 名	ミャンマー
大学名	埼玉大学
課 程	博士 2
世話クラブ	川口東
カウンセラー	鹿嶋 広久



氏 名	孫 冉君
フリガナ	ソン ゼンクン
国 名	中 国
大学名	埼玉大学
課 程	修士 2
世話クラブ	三郷中央
カウンセラー	浜田 一夫



氏 名	沈 美里
フリガナ	シム ミリ
国 名	韓 国
大学名	埼玉大学
課 程	学部 4
世話クラブ	三郷ウェンズデー
カウンセラー	倉島 保

第2770地区 2014学年度 ロータリー米山記念奨学生【新規奨学生】



氏名	趙 秀東
フリガナ	ジョ スドン
国名	韓国
大学名	埼玉大学
課程	学部4
世話クラブ	川口
カウンセラー	安達 善一



氏名	劉 天祥
フリガナ	リュウ テンショウ
国名	中国
大学名	東京理科大学
課程	学部4
世話クラブ	蓮田
カウンセラー	波多野 勝治



氏名	崔 永記
フリガナ	チェ ヨンギ
国名	韓国
大学名	埼玉大学
課程	学部4
世話クラブ	川口南
カウンセラー	中島 達哉



氏名	ズンドォウ, アルタンズル
フリガナ	
国名	モンゴル
大学名	日本工業大学
課程	学部4
世話クラブ	幸手中央
カウンセラー	菅野 秀光



氏名	郭 井聯
フリガナ	カク イレン
国名	中国
大学名	芝浦工業大学
課程	学部3
世話クラブ	大宮東
カウンセラー	堀江 誠一



氏名	康 鎮凡
フリガナ	コウ チンハン
国名	中国
大学名	日本工業大学
課程	修士1
世話クラブ	杉戸
カウンセラー	関口 博正



氏名	朴 秀眩
フリガナ	パク スヒョン
国名	韓国
大学名	聖学院大学
課程	学部4
世話クラブ	上尾
カウンセラー	大塚 信郎



氏名	喬 銀凱
フリガナ	キョウ ギンガイ
国名	中国
大学名	文教大学
課程	学部4
世話クラブ	越谷東
カウンセラー	株竹 眞次



氏名	裴 貴艶
フリガナ	ハイ キエン
国名	中国
大学名	聖学院大学
課程	学部4
世話クラブ	大宮南
カウンセラー	宗像 英明



氏名	李 秭欣
フリガナ	リ シシン
国名	中国
大学名	獨協大学
課程	学部3
世話クラブ	八潮
カウンセラー	磯貝 九万

「大宮西 RC・岩槻 RC 創立記念例会」ご報告

プログラム委員長 新井 清太（大宮西 RC）



3月24日（月）大宮パレスホテルに於きまして、昨年度、ともに50周年を迎えた大宮西RCと岩槻RCが、51年目の再スタートという意味も込め、合同による創立記念例会を開催致しました。

当日は聖学院大学（上尾市）全学教授であり、政治学者の姜尚中先生をお招きし、「こころ」をテーマにご講演をして頂きました。先生は1950年（昭和25年）熊本県熊本市のお生まれで、この4月より同大学学長にご就任され、今後は地域に根ざした教育を目指していきたいと仰っていました。

講演では、ご自身の長編小説を「心」と名付けたほど大変強い影響を受けたという、明治の文豪夏目漱石の小説「こころ」を題材に、デフレ・少子化が進み今までのような経済成長が望めないであろう現代日本が、成熟社会としての今後をどう歩んでいくべきか、模索していく必要性について語られました。先生によれば、漱石は英国留学を経て、100年前既にそうした社会のあり方や心の持ちようについて気付いており、我々企業人にも学ぶべきところが多く、その一方で、自身のメンタルな病の部分の小説にした稀有な人であるということでもあります。

また、ロータリアンの奉仕についても触れられ、「なぜ奉仕なのか」「どうして奉仕するのか」、我々がなかなか即答しかねる奉仕の概念についても漱石の「こころ」から解きほぐし、さらには、人生の師から若者へ語り継いで受け継ぐ、心と心を繋い

でいくという、生命の大きな流れの大切さを“魂の遺産相続”という言葉で説かれました。そして、適正利潤とサステナビリティが職業奉仕の基本である事もの確に指摘されました。

講演の最後には「赤の他人への奉仕を行っているロータリークラブのような活動が、人と人との信頼関係や絆を築き、日本社会を本当の意味で強くしていくと思います。」との激励のお言葉も頂きました。

講演後には先生の書籍販売とサイン会を行いました。集まった多くのメンバー一人ひとりと丁寧に言葉を交わされている姿に、先生のお人柄の良さを感じた次第です。

今回の姜先生のお話を踏まえ、もう一度ロータリークラブの活動の意義と重要性について考えてみることで、今後の活動に生かしていきたいと思えます。



祝創立30周年



川口・鳩ヶ谷武南 RC 会長 牧田 英三

4月6日（日）上野精養軒に於て、川口、鳩ヶ谷武南R.Cの30周年記念式典並びに祝賀会が多くのご来賓をお招きし行われました。

桜の花も残り、さわやかな季節の中、何かとご多忙のところ渡邊地区ガバナー、奥ノ木川口市長、を初め多くのパストガバナー、ガバナー補佐、地区役員、近隣クラブ会長、幹事と姉妹クラブ台湾大甲扶輪社の皆様をお迎え盛大に挙行できましたことは、私どもクラブ会員一同この上ない喜びでありました。

改めて皆様に感謝とお礼申し上げます。

1985年4月創立以来、今日まで30年の永きに亘り歴代会長、会員の努力と同時にご臨席いただいた諸先輩、近隣クラブ、会員の皆様のご指導ご声援があつてのことと感謝いたしております。

式典では記念事業の目録および感謝状の授与が行われ、記念事業を代表し宮城県三陸町、後藤前議長より挨拶と震災後のあゆみと現状を詳細にお話しいただきました。

また、ご来賓の渡邊ガバナー、奥ノ木川口市長、新藤総務大臣、第3460鄭会長、黒田鳩ヶ

谷RC会長から身に余るご祝辞をいただきありがとうございました。

今後この30周年を節目に更に、40年、50年と持続し地域社会により一層貢献できます様邁進する所存でございます。

引続き皆様の変わらぬご支援、ご鞭撻をお願いする次第であります。

式典後、祝宴に移り、ユーモア溢れる牧内パースト、田中パースト、台湾の季パーストの各ガバナより祝辞をいただき、引続き濱野ガバナーエレクトのご挨拶と乾杯音頭で祝宴に入り、弦楽四重奏団とチアリーダーのアトラクションで盛り上がり、その会場内では杯のかわしで行きかう出席者と楽しい会場風景に一変いたしました。最後に山口ガバナー補佐の中締めご挨拶とロータリーソング「手に手つないで」を元気よく行い、終了となりました。

何かと不行き届きがあったことお許し下さい。ありがとうございました。



わくわく国際フェスタ報告

現在駐日米国大使館公使として

留学を目指す候補生に熱いメッセージ

元青少年交換留学生 アンドリュー・ワイレガラ



1980（昭和55）～1981（昭和56）年度にかけて浦和西RC（2770地区）が青少年交換留学生として受け入れたアンドリュー・ワイレガラ君（当時17歳）が、35年経った今年3月8日にさいたま市を訪れ【わくわく国際フェスタ】の講師として青少年交換候補生やこれから留学を目指す若者に熱いメッセージを贈りました。

アンドリュー君は、ロータリーが目指す「将来日本と母国との架け橋」を成就し、現在駐日米国大使館商務担当公使として活躍しています。

「留学が私にもたらしたもの」と題してスピーチされたワイレガラ氏は、当時のカウンセラーだった瀬島猛さん（浦和西RC元会員）やホストクラブだった浦和西RCの会員、浦和麗和会（県立浦和高校OB会）らが歓迎する中、留学中に着用していた学生帽を被り学業のことや多くの友人に巡り会えたことなどを発表。さらには当時青少年交換候補生だった「ヨーコさん」と恋を育み、現在のご家庭を持たれている、などのエピソードまで披露してくれました。

「ロータリーの青少年交換プログラムは私の人生にとって大きな転換をもらしてくれました。」

若い人たちが海外に出て行くことは、個人にとっても社会にとっても、そしてアメリカにとっても必要なことです。アメリカにとって必要なことは強くグローバルなパートナーを持つことであり、その中で日本は重要なパートナーなのです。グローバルな人材を育てることは大きな意味があります」と、熱いメッセージを贈っていただきました。

第9回

わくわく国際フェスタ

- 日時：2014年3月8日（土）14：00～17：00（開場13：30）
- 場所：浦和コミュニティセンター 第15集会室（浦和駅東口駅前 コムナーレ9階）
- 内容：（1）基調講演（2）留学生とのパネルディスカッション
（3）留学生との交流会
- 入場無料

【基調講演】

「留学が私にもたらしたもの」

アンドリュー・ワイレガラ 氏

在日米国大使館 商務担当公使
元国際ロータリー2770地区青少年交換生

共催：さいたま市、さいたま市国際NGOネットワーク、（公社）さいたま観光国際協会
協力：国立大学法人埼玉大学、国際ロータリー第2770地区



戸田ロータリークラブ千人献血

戸田RC会長 金子 洋太郎



さる4月9日戸田ロータリークラブ50周年記念行事の一環として、1,000人献血を目指した献血活動が戸田中央総合病院施設内で行われました。

で行われました。

1,000人規模と言う前例のない中、一年前から車両の確保を行い当日は県内の献血車両を全て集結し、埼玉県赤十字血液センタースタッフ、当クラブメンバー、関係者達が総力を挙げて取り組みました。

事前には当ロータリークラブメンバー50人、ローターアクト、その他関係者との連携であらゆるコネクションを使い懸命のPR活動を行いました。中でも社会奉仕委員会ではどうしたら1,000人集められるのか？を考えメンバー一人ひとりから確実な人数を示して頂き、より正確な人数を把握致しました。

特に戸田中央総合病院には若い医師、職員、看護士、看護学生が多いため、彼らの献血への協力は極めて有効でした。

お陰様で、天候にも恵まれ一日穏やかにむかえられ総受付数は1136人、採血者数は668人と無事に目標人数を達成する事が出来ました。これは全国的に見ても最大級規模の様です。



海外渡航や帰国後四週間という採血条件を制限している為、採血割合は概略60%となりましたが、大成功と言って良いと思います。

戸田ロータリークラブの献血の歴史は長く42年になります。

最初は1971～72年度赤塚正一会長時代、現戸田中央総合病院会長中村隆俊先生が社会奉仕委員長を勤めていた時でした。

中村先生は「献血は命と命にける虹」というキャッチフレーズの下、ロータリーの社会奉仕事業として献血を取り上げました。

献血協力者は年を追って増えて参りまして二年後の1974年には応募者332、採決者278となり、日本赤十字社より感謝状を頂いております。

現在毎年の献血活動では500人前後の献血応募者と四百人前後の採血者で推移しておりこれは埼玉県内でもトップクラスです。

そしてこの献血活動は戸田ロータリークラブの中心となる奉仕活動です。大先輩達が残してくれた貴重な伝統を引き続き守り、今後発展させて行く覚悟です。

2014年4月14日



旧浦和北部地区小中学校皆勤表彰式

浦和北RC会長 八木 光雄



去る3月19日、浦和ロイヤルパインズホテルにて稲葉教育長ご臨席のもと、『旧浦和北部地区小中学校皆勤表彰式』が行なわれました。我が浦和北ロータリークラブがこの皆勤表彰式を始めてから26年目になります。

旧浦和北部地区の小学校は、仲町小学校・常盤小学校・常盤北小学校・三室小学校・針ヶ谷小学校・道祖土小学校・芝原小学校・木崎小学校・上木崎小学校の9校、中学校は常盤中学校・木崎中学校・三室中学校・大原中学校・本太中学校の5校となっております。

当日は小学校6年間及び小中学校9年間の表彰でした。児童・生徒たちには長い年月に亘り皆勤出席を達成できたという事実は、間違いなくご本人自身のたゆまぬ努力の結束であります。まず最初にそれを支えてくださったご家族を始め学校の先生、学校のお友だちにも感謝をしましょうとお伝えしました。浦和北ロータリークラブにとってこれは地域奉仕の大きな事業の一つです。

これからも地域の大切な子供たちのためにこの事業を続けていきたいと思ひます。



ロータリー財団

M・P・H・F(29)
ベネファクター



杉田 政男
(岩槻東)

平成26年3月11日

米山奨学会

米山功労者メジャーダー(13)



鈴木 由也
(越谷北)

平成25年11月13日

米山功労者マルチブル(8)



江口 正史
(川口南)

平成26年4月3日

米山功労者マルチブル(6)



小林 操
(越谷北)

平成25年11月13日

米山功労者マルチブル(4)



一柳 昌利
(越谷北)

平成25年11月13日

米山功労者マルチプル(4)



鈴木英男

(越谷北)

平成25年11月13日

米山功労者マルチプル(3)



下村俊雄

(岩槻中央)

平成26年3月30日

米山功労者マルチプル(2)



降田富男

(越谷北)

平成25年11月13日

新会員



関野修一

(大宮中央)

平成26年1月14日入会

(有)音和家 ホテルパークサイド

ホテル業



石井孝徳

(戸田)

平成26年3月3日入会

サーマル化工(株)

金属熱処理



遠藤英樹

(戸田)

平成26年3月3日入会

遠藤英樹公認会計士事務所

会計士



矢上智也

(蓮田)

平成26年3月5日入会

More(株)

保険コンサルタント



塚本 晃

(蓮田)

平成26年3月19日入会

塚本司法書士事務所

司法書士



山本洋介

(さいたま中央)

平成26年3月20日入会

(株)山本工業

防水工事



大山 敦

(川口東)

平成26年3月25日入会

(有)大山建板

建築



山田周二

(大宮南)

平成26年3月25日入会

(株)高島屋大宮店

百貨店



井上 寛

(草加中央)

平成26年4月1日入会

タカザ冷機(株)

冷凍機製造



今井雄一

(大宮)

平成26年4月2日入会

(株)新総企

不動産賃貸業・管理業



栗林 学

(蓮田)

平成26年4月2日入会

(株)RUNBLOOD

洋食



魚谷 勝

(浦和中)

平成26年4月3日入会

(株)メゾンプレジール

住宅販売



小山正人

(戸田イブニング)

平成26年4月3日入会

(有)福仙堂不動産

不動産管理



長野真由美

(川口シティ鳩ヶ谷)

平成26年4月8日入会

長野真由美税理士事務所

税理士



北 清太郎

(浦和東)

平成26年4月17日入会

シン建工業(株)

総合建設業

計報 ◆ 謹んでお悔やみ申し上げます。



金子善孝 様

大宮東ロータリー

平成26年3月27日

享年 75 歳

文庫通信
(319号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50 周年記念事業の一つとして 1970 年 に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約 2 万 3 千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。

閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページで PDF もご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

◆ 地区大会記念講演他より ◆

◎ 「戦国を生き抜いた知恵」

細川護熙 2013 7p (D.2650 地区大会記念誌)

◎ 「はやぶさプロジェクトの成果・教訓」

川口淳一郎 2013 4p (D.2820 地区大会記録)

◎ 「日本人の持つべき国家観について」

渡部昇一 2013 11p (D.2520 地区大会記録誌)

◎ 「世界の人々のために」

緒方貞子 2013 5p (第 11 回日韓親善会議報告書)

◎ 「これからの両国のきずな」

山東昭子 2013 5p (第 11 回日韓親善会議報告書)

◎ 「軍艦「筑波」一偉大なる航海(上)(下)」

岡村 健 2013 23p (福岡南 RC 月報)

◎ 「『がんばらない』けど『あきらめない』」

鎌田 實 [2013] 1p (D.2840 地区大会報告書)

◎ 「これからの生き方」

山田法胤 2013 2p (D.2700 地区大会の記録)

◎ 「人が動き街が動く～私のリーダーシップ論」

セーラ・マリ・カミングス [2013] 21p

(D.2800 地区大会記念誌) (私のロータリーモメント)

◎ 「平和と命」 深川純一 2013 20p

(第 35 回青少年指導者育成セミナー報告書)

◎ 「掃除実践 60 年の『人生と経営の哲学』」

鍵山秀三郎 2014 10p (D.2710 地区大会特集号)

[上記申込先: ロータリー文庫]

グループ	クラブ名	2013年 7月1日現在		当月末 会員数		増 減	目標 純増	通算 純増	当月		通算 出席率 順位
		内女性		内女性					出席率	順位	
第一グループ	浦和	112	1	110	1	-2	6	3	87.72	29	37
	浦和東	81	3	77	3	-4	4	0	91.69	13	6
	浦和南	25	0	23	0	-2	3	0	92.39	11	11
	浦和中	35	2	35	2	0	3	1	93.97	5	7
	浦和ダイヤモンド	25	7	26	7	1	5	2	92.11	12	15
	第1グループ計	278	13	271	13	-7	21	6	91.58		
第二グループ	浦和北	71	6	72	6	1	7	7	93.75	7	43
	さいたま中央	49	2	46	2	-3	3	2	89.13	21	39
	浦和西	19	2	18	2	-1	7	0	67.27	73	72
	浦和北東	44	2	46	4	2	7	2	86.36	32	67
	さいたま新都心	41	0	42	0	1	2	1	90.48	17	34
	第2グループ計	224	12	224	14	0	26	12	85.40		
第三グループ	大宮	67	0	67	0	0	3	9	84.93	36	49
	大宮南	39	6	38	6	-1	5	3	83.78	42	47
	大宮中央	46	0	50	1	4	5	6	88.43	24	44
	大宮南東	9	5	8	4	-1	4	1	79.20	56	63
	大宮シティ	68	4	72	4	4	8	5	76.74	64	60
	さいたま欖	19	1	23	2	4	10	4	80.74	52	50
	さいたま大空	0	0	24	11	24	0	25	78.26	59	75
	第3グループ計	248	16	282	28	34	35	53	81.73		
第四グループ	大宮西	87	4	86	4	-1	9	6	76.69	65	62
	岩槻	29	4	30	3	1	5	2	80.00	54	74
	大宮北	22	1	24	1	2	5	2	92.98	10	17
	大宮東	36	0	33	0	-3	3	0	77.45	62	51
	岩槻東	28	1	27	1	-1	3	0	93.82	6	45
	大宮北東	15	2	15	2	0	3	0	71.11	71	70
	岩槻中央	13	0	13	0	0	3	0	68.18	72	76
	第4グループ計	230	12	228	11	-2	31	10	80.03		
第五グループ	上尾	35	1	36	1	1	3	1	89.29	20	4
	鴻巣	24	1	22	1	-2	3	0	93.65	8	9
	桶川	16	0	17	0	1	3	1	78.71	57	68
	上尾西	39	0	44	0	5	6	7	87.89	26	8
	北本	9	0	9	0	0	3	0	83.35	43	10
	上尾北	25	0	25	0	0	3	0	89.58	19	3
	鴻巣水曜	30	4	32	5	2	5	2	85.42	35	23
	桶川イブニング	18	0	19	1	1	2	1	77.77	61	14
	第5グループ計	196	6	204	8	8	28	12	85.71		
第六グループ	春日部	41	0	39	0	-2	10	1	79.85	55	38
	杉戸	23	0	22	0	-1	3	0	84.84	37	29
	春日部西	30	1	31	1	1	5	2	87.78	27	26
	庄和	20	1	22	1	2	3	2	83.00	48	33
	春日部南	31	3	26	1	-5	5	0	91.35	15	13
	春日部イブニング	21	1	25	1	4	3	4	100.00	1	2
	杉戸中央	20	0	21	0	1	3	1	80.70	53	54
	第6グループ計	186	6	186	4	0	32	10	86.79		

グループ	クラブ名	2013年 7月1日現在		当月末 会員数		増 減	目 標 純 増	通 算 純 増	当月		通算 出席率 順位
		内女性		内女性					出席率	順位	
第七グループ	幸 手	43	1	42	1	-1	5	1	91.60	14	16
	蓮 田	32	0	44	1	12	5	13	88.09	25	36
	久 喜 菫 蒲	58	4	54	4	-4	6	1	81.70	50	53
	栗 橋	9	0	10	0	1	2	1	83.27	46	59
	幸 手 中 央	23	0	25	0	2	3	3	78.67	58	61
	第7グループ計	165	5	175	6	10	21	19	84.67		
第八グループ	越 谷	82	4	84	5	2	6	4	96.00	3	25
	越 谷 南	52	4	52	5	0	5	5	83.10	47	28
	越 谷 北	53	1	53	1	0	5	1	86.00	34	46
	越 谷 東	49	7	50	6	1	5	2	83.89	41	52
	越 谷 中	16	0	20	3	4	5	4	100.00	1	58
	第8グループ計	252	16	259	20	7	26	16	89.80		
第九グループ	八 潮	47	3	48	3	1	5	3	82.61	49	22
	草 加 南	11	1	11	1	0	3	0	77.27	63	56
	八潮イブニング	27	2	30	2	3	3	3	83.93	39	42
	草 加 中 央	20	0	19	0	-1	3	1	90.78	16	19
	八 潮 み ら い	25	0	27	0	2	3	2	86.12	33	30
	草 加 松 原	33	2	34	2	1	5	1	64.95	77	69
第9グループ計	163	8	169	8	6	22	10	80.94			
第十グループ	吉 川	32	2	31	2	-1	5	0	75.82	67	65
	三 郷	31	2	35	3	4	3	5	87.74	28	35
	三 郷 中 央	17	0	18	0	1	5	1	83.33	44	48
	三郷ウェンズデー	23	2	26	4	3	5	3	87.18	31	55
	松 伏	14	4	14	4	0	3	0	90.47	18	12
	第10グループ計	117	10	124	13	7	21	9	84.91		
第十一グループ	川 口	83	11	81	12	-2	5	3	66.02	76	71
	鳩 ケ 谷	23	0	23	0	0	3	0	93.33	9	18
	川 口 東	20	0	21	0	1	5	2	78.22	60	21
	川口・鳩ヶ谷武南	26	2	26	2	0	2	0	71.36	70	40
	川口モーニング	26	1	28	1	2	5	3	83.91	40	5
	川 口 南	31	4	32	4	1	3	3	74.18	68	73
	川口シティ鳩ヶ谷	17	0	18	0	1	5	1	81.15	51	24
	埼 玉 ゆ ず	20	20	17	17	-3	0	2	66.66	75	77
	第11グループ計	246	38	246	36	0	28	14	76.85		
第十二グループ	戸 田	52	6	53	6	1	1	3	88.81	22	32
	蕨	23	1	27	2	4	1	4	88.53	23	31
	川 口 西	26	4	27	4	1	1	3	83.33	44	64
	戸 田 西	30	1	27	1	-3	3	0	95.83	4	1
	川 口 北	27	1	24	0	-3	5	0	83.95	38	27
	川 口 北 東	19	2	22	2	3	5	4	66.67	74	41
	川 口 中 央	13	2	13	2	0	2	0	87.50	30	20
	川口むさし野	17	1	18	2	1	3	1	73.06	69	66
	戸田イブニング	18	0	19	0	1	2	2	76.38	66	57
	第12グループ計	225	18	230	19	5	23	17	82.67		
	地 区 合 計	2530	160	2598	180	68	314	188	83.79		